

平成29年度 やまなみ幼稚園自己評価・関係者評価結果

学校法人 やまなみ幼稚園

1 やまなみ幼稚園の教育目標

- * 健康な身体をつくり体力の向上をはかる。
- * 幼児期は社会的な人格形成の基礎となるので、基本的な生活習慣を身に付け、将来、社会生活、団体生活に慣れていく習慣を身に付ける。
- * 創造性を豊かにし、明るく朗らかな子どもに育てる。
- * 個性を尊重し、たくましい子どもに育てる。
- * 友達と仲良くし、おもいやりのある子どもに育てる。
- * 遊びを通じて、思考活動を活発にし、考える子どもに育てる。
- * 英語教育を通じて国際的な感覚を持つ子どもに育てる。

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

- * 昨年度に見られた教員自らの育ちが今年度も見られるように、園内研修やその他のサポート体制を整えて、環境整備を行っていききたい。
- * 近年の熱中症の増加を鑑み、子ども達が夏場にも安心して戸外で遊べるような環境整備を行いたい。
- * 働く母親の増加から、保護者との関係が希薄傾向にある。そのような状況から脱却するために、子どもを中心に保護者と保育者が手を携えていけるような方法を模索したい。
- * 引き続き保育参加の意義や効果を探ることを継続して行いたい。また在園児保護者に対する支援だけでなく、地域を対象とした子育て支援についても可能な限りその効果を検証していききたい。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価結果
自主的な教員の育ち	幼稚園教諭専修免許状の取得者や卒業校へ講師として講義する教員が出た。また日本保育学会等に自主的に参加する教員も現れた。
遊び場の環境整備	幼保連携型認定こども園に移行するにあたり、敷地面積を少なくしないで乳児棟を増築するように工夫を行った。また雨が降っても戸外で遊べるように砂場を配置したり、プールの頭上には可動テントをつけたりして、紫外線や熱中症対策を行った。さらに、園庭での活動の際に、安全に活動ができるように扇風機型のミストシャワーを複数台購入して環境整備につとめた。

保護者との連携強化	できるだけ保護者と保育者がコミュニケーションをとって園運営ができるようにするため、従来は保護者会行事であった盆踊り大会をやまなみ祭同様に保育者と保護者の共催に変更した。共催にすることにより、運営もスムーズにいくようになった。
子育て支援の効果の検証	特に保育参加については、保護者に質問紙を実施し、保育参加の効果の検証を行った。結果としては、先行研究と同様の結果とともに、改善に結びつけられるような発見がみられた。
財務運営の状況	監事監査、公認会計士監査を受けており、当園の財務は適正であり、園運営においても適正に運営されていると認められた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
概ね達成できた	<p>園内研修を数多く実施することにより、保育者の資質向上とともに保育の安定が見られるようになってきた。その結果として帰宅時刻が早くなってきている。また一部の教員には自分自身の向上を自発的に行うものが現れた。今後は、そのような自発的な学びを園内にどう浸透させていくのかが課題になろう。幼保連携型認定こども園に移行後はしばらく落ち着かない時期があるものと思われるが、さらなる教員の自発的な学びを期待したい。</p> <p>環境整備についても、計画通り進めることができた。昨年度以上の環境が子ども達に提供できるものとする。</p> <p>保護者との連携についても、従来の保護者会行事を保護者と保育者の共催とすることで、短期間に効率よく実施することができるようになった。同時に意思疎通が従来よりもよくなり、連携の強化につながっているものと思われる。</p>

5 今後の取組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 み 状 況
リーダー教員の育成	自主的な教員の学びが教員内に浸透していくために、リーダーとなる教員が育っていくような環境を目指していきたい。
異年齢交流の充実	幼保連携型認定こども園に移行することで子どもの年齢の幅が広がる。そのような機会を積極的に保育内容に活かしていけるような工夫をしたい。
業務環境の改善	業務の中に積極的にICTを導入し、業務の改善につなげたい。
子育て支援の効果の検証	引き続き、保育参加の意義や効果を探ることを継続して行いたい。またそれらの成果を学会等で発表する機会を持ちたい。

6 学校関係者評価（学校関係者評価委員の評価項目にそった意見を集約）

評価項目	関係者評価
自主的な教員の育ち	<p>今後は今以上に、教員の質が問われる時代になるため、園内で研修制度を整えて、対応していく必要がある。当園では、園内資源で研修を行っているが、大学等の高等教育機関を資源として活用してみてもどうか。また研修制度の中に、免許の上進を視野に検討してみてもどうか。</p>
遊び場の環境整備	<p>夏場は特に熱中症の予防が必要であることから、適切な時期に環境整備が行われていると考える。物理的な整備とともに、こまめに休憩を取り水分補給に努めるなど、教職員に対しても引き続き指導をお願いしたい。</p>
保護者との連携強化	<p>保護者との連携を考えた場合、保育参加等により保護者と保育者が協働していく体制は評価できる。また園行事についても保護者会行事を園との共催にすることで、コミュニケーションの増加だけではなく、運営をスムーズにできている点は高評価である。次年度はICTの導入を検討しているが、積極的に業務改善を進め、余裕のできた時間を保護者とのコミュニケーションに充てて、連携強化を図ってほしい。</p>
子育て支援の効果検証	<p>認定こども園として、引き続き子育て支援の効果検証を行い、地域の子育て・教育センターとしての役割を担ってほしい。</p>